

地域の年中行事②「高椅神社の神楽」

栃木県下に広く分布する太々神楽の一つで、吉田流を名乗る神楽です。岩戸開きや大蛇退治など日本神話を脚色した神代神楽で、14座より構成されています。舞は軽快なリズム感に富み、神事舞踊としての上品さが保たれていることから、1984年（昭和59年）に、小山市の無形民俗文化財に指定されています。

平成28年10月8日（土）の秋季例大祭にて



猿田彦神の舞（天狗）から



海津見の舞（翁）から



天児屋根命の舞（春日）から



毎年、多くの見物客が訪れます



神楽の終盤には、お餅が巻かれます